

世界遺産委員会決議への対応について（その5）
来訪者に関する管理戦略の策定と実施について（資産の受容力に関する分析等）

様々な場所の受容力に関する詳細な研究に基づき、来訪者に関する管理戦略を適切に定め、実施すること。

1 全体計画

適切な受容力の検討に向け、H24～H26 に調査を実施し、その結果に基づき、県及び関係市町（平泉町、奥州市、一関市）によって来訪者管理戦略を定める。

2 経過

(1) 平成 24 年度～26 年度

- ・ 適切な受容力の検討に向け資産及び周辺資産における利用動向を把握するため、世界遺産登録初年度（H23. 7～H24. 6）の利用データの整理分析を実施。
- ・ 構成資産の中で来訪者数が最も多い「中尊寺金色堂」のガラスケース内の温湿度について、入館者数の増減がガラスケース内相対温湿度の変動に与える影響はほとんど無いことが判明。
- ・ 拡張想定資産も含めた「平泉の文化遺産」の理解度等について来訪者の意識調査を実施。中尊寺や毛越寺へ来訪者が集中していること、中尊寺や毛越寺以外の資産の認知度が低いことなどが判明。
- ・ 3 か年の調査結果を踏まえ来訪者管理戦略の策定（平成 27 年 3 月）。

(2) 平成 27 年度～29 年度

- ・ 来訪者管理戦略のための「周遊マップ」について、毎年度作成。
平成 29 年度には、一部情報の追加を行った。
＜平成 29 年度の状況＞
追加情報：〔日本語〕周遊ルートの改定、出土文化財（カエルの板絵）の追加
作成部数：〔日本語〕 35,000 部

(3) 平成 30 年度

- ・ 周遊化の拠点として「平泉の文化遺産」ガイドンス施設（仮称）を位置付け、「平泉の文化遺産」の価値の正確な理解を図るための基本計画を策定した。

【来訪者管理戦略について】

1 「平泉の文化遺産」への来訪者の周遊化

「平泉の文化遺産」の来訪者の混雑緩和、資産保護を図るため、モデルコースを設定・周知するなど来訪者の周遊化のための取組を推進する。

2 重点（重要）スポットの設定

「登録資産」の価値と正確な理解を図るため、各構成資産に顕著な普遍的価値を直接説明する場所を重点（重要）スポットとして設定し周知を図る。

3 混雑時に対応した誘導方法の情報共有

混雑時においても資産の保護と価値の正確な理解を図るため、資産毎に行っている来訪者の誘導方策について関係機関で情報共有し、適切に運用する。

4 その他来訪者管理に関する施策の実施

推薦書及び包括的保存管理計画書等に基づき実施している、来訪者を適切に管理・誘導し「平泉の文化遺産」の保護と価値の伝達に資する施策を着実に実施する。